

国立がんセンター がん登録実務者研修

1987年以來毎年2回、国立がんセンターで、「がん登録実務者研修」 地域がん登録コースと 院内がん登録コース（夏、冬各1週間）が、開かれています。厚生労働省医政局が主催し、コース開催を国立がんセンターに委嘱しています。受講料は無料、旅費および宿泊費は、原則として受講生の所属機関が負担します。受講希望者は、県保健福祉担当部（局）の担当課から県内医療機関に送付されている「がん診療に従事する医師、看護婦...

...がん登録実務者の研修実施要領（平成14年度）」をご覧ください。所定の様式（要領に含まれている）により、受講申し込みを県担当課へ提出します。県は厚労省へ推薦します。所定の様式では所属施設長の推薦文が必要です。次回地域がん登録コースは、平成15年1月27-31日に開催の予定で、県から厚労省への推薦締切日は平成14年10月末日、県での締め切りはこれより1週間ほど早くなります。受講を希望される方は、早めに勤務地の県保健福祉担当部（局）担当課にお問い合わせ下さい。

参考 平成13年度地域がん登録コースの内容

曜日	午前			午後			
	開講式	わが国のがん対策とがん登録	地域がん登録の目的と組織	がん登録と個人情報保護	人体解剖学とICD-10, ICD-O-Tの構成	腫瘍病理学とICD-O-M(2)の構成	多重がんの定義と判定基準
火	消化器がんの診断と治療		必要情報と情報源		進行度分類	肝がんの診断と治療	中央登録室の作業と精度
水	地域がん登録の電算機システム		予後調査の実際、生存率の集計対象、計算		部位及び病理組織のコーディング（実習）		がんの化学・免疫・ホルモン療法の概要
木	がん疫学入門		統計学の基礎		乳がんの診断と治療	白血病・悪性リンパ腫の基礎と臨床	
金	婦人科がんの診断と治療		がん登録資料の利用		地域がん登録に関するQ&A	肺がんの診断と治療	評価・反省会 終了式

編集後記

第11号のニュースレターをお届けします。巻頭言には、個人情報関係の最新的话题を大島先生にお願いいたしました。いよいよ、という印象を持っていますが、實はどちらに転ぶのでしょうか。国民の方々が、「地域がん登録」があることで安心して国の「がん対策」を支援してもらえるような状況になることが理想なのですが、津熊先生の“CONCORD Study Meeting と NAACCR Meeting”の参加ご報告を読ませていただきますと、日本とは全く異なった（数十年先を行く）論議がされていることに驚かされます。編集子も井上先生のご報告にありますように、第24回のIACR Meetingに参加してきまし

たが、日本からの参加者は多いのですが、報告の内容は北米、欧州と比べるとなく、韓国、台湾、中国の地域がん登録の急成長が目を見張るものがありました。IACRはもともと、故瀬木三雄先生（元東北大学教授）の音頭のもと組織化されたと聞いています。それなのに、わが国の地域がん登録を取り巻く状況を考えると、“灯台下暗し”なる諺が脳裏を掠め過ぎるのは編集子だけの病なのか？ 編集担当の井上先生が国立がんセンターへ異動されたため、今回は一人編集となりました。不備をお詫びいたします。次回からは、広島の小山先生に入ってください予定です。では米子で会いましょう。（岡本）

2002年 関連学会一覧

9月13-14日	地域がん登録全国協議会総会研究会（第11回）	米子市 米子コンベンションセンター
10月1-3日	日本癌学会（第61回）	東京都 東京国際フォーラム
10月23-25日	日本公衆衛生学会（第61回）	さいたま市 大宮ソニックシティ
1月24-25日	日本疫学会（第13回）	福岡市 明治生命ホール
1月27-31日	実務者研修「地域がん登録課程」	国立がんセンター

発行 地域がん登録全国協議会 Japanese Association of Cancer Registries 理事長 大島 明
事務局 〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3 大阪府立成人病センター内
TEL: 06-6972-1181 (2314), 06-6977-2030 (直) FAX: 06-6977-2030 (直), 06-6978-2821